



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9077 URL <http://www.meitetsuunyu.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内田 互
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)宮武 積 (TEL) 052(935)5721
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,912	0.2	1,276	△11.2	1,337	△10.5	867	△10.6
2019年3月期第1四半期	28,862	4.9	1,436	25.5	1,494	24.1	970	18.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 858百万円(△17.1%) 2019年3月期第1四半期 1,035百万円(5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	133.86	—
2019年3月期第1四半期	149.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	97,173	35,870	35.8
2019年3月期	94,332	35,343	36.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 34,739百万円 2019年3月期 34,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	1.3	2,500	△1.0	2,500	△3.0	1,700	4.6	262.22
通期	117,000	0.9	4,900	0.1	5,000	△0.5	3,000	2.4	462.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	6,509,301株	2019年3月期	6,509,301株
2020年3月期1Q	26,133株	2019年3月期	26,089株
2020年3月期1Q	6,483,197株	2019年3月期1Q	6,483,657株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費、設備投資など国内需要は一定の底堅さを維持しました。一方、原材料費や人件費の上昇による企業収益の圧迫や、世界経済の減速に伴う輸出の減少から、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物の輸送需要は堅調であり、運賃適正化が進み増収傾向にあるものの、人手不足の深刻化によるドライバー確保のための人件費の増加や、委託費の高騰、不安定な燃料価格など、依然として、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、現中期経営計画の基本方針「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする」を中心とした各施策を推進し、積極的な営業活動と効率経営に努めました。

貨物運送関連では、混載事業を中心に、グループ全社で取扱量の確保に努めるとともに、適正運賃改定交渉に継続して取り組み、前年同期並みの収入を確保いたしました。具体的な施策として、営業面では、東京営業部を中心として、グループ全体のリソースを活用した提案による新規荷主獲得を進め、既存荷主に対しては、運送約款改正に合わせ、輸送コストに応じた適正な運賃への改定と作業条件改善による集配業務の効率化を目指し交渉を行い、利益を迫及した営業活動を行いました。また、営業支援システム(SFA)を活用し、営業情報の迅速な集約化、共有化を図りました。業務面では、日本通運株式会社との連携を一層強化し、経営資源の有効活用及び業務効率化を引き続き図りました。また、輸送を外部委託からグループ内に取り込むことで運送委託費の増加を抑えることに努めました。

流通倉庫関連では、6月に営業推進部を新設するなど、収入確保に向けた積極的な営業活動に注力したことにより、飲料メーカー及び日用品メーカーなど主要顧客の売上が堅調に推移し前期を上回りました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は前年同期比0.2%増の28,912百万円となったものの、人件費と償却費の増加により、営業利益は前年同期比11.2%減の1,276百万円、経常利益は前年同期比10.5%減の1,337百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、10.6%減の867百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

[資産の部]

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、19,433百万円となりました。これは、その他の流動資産が245百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、77,740百万円となりました。これは、有形固定資産が2,566百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,840百万円増加し、97,173百万円となりました。

[負債の部]

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、34,292百万円となりました。これは、その他の流動負債が1,654百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、27,011百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,313百万円増加し、61,303百万円となりました。

[純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、35,870百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予定通りに推移しており、2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	413	385
受取手形及び営業未収入金	16,453	16,217
電子記録債権	1,289	1,358
商品及び製品	2	3
仕掛品	45	8
貯蔵品	210	206
その他	1,014	1,260
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	19,422	19,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,413	37,451
減価償却累計額	△25,784	△26,019
建物及び構築物(純額)	11,628	11,431
機械装置及び運搬具	39,809	40,538
減価償却累計額	△23,102	△23,353
機械装置及び運搬具(純額)	16,706	17,184
土地	36,105	38,090
リース資産	988	985
減価償却累計額	△702	△730
リース資産(純額)	285	254
建設仮勘定	147	366
その他	2,736	2,917
減価償却累計額	△2,131	△2,200
その他(純額)	605	716
有形固定資産合計	65,478	68,045
無形固定資産		
ソフトウェア	1,089	979
その他	373	369
無形固定資産合計	1,462	1,349
投資その他の資産		
投資有価証券	2,373	2,292
長期貸付金	73	68
繰延税金資産	3,032	3,358
その他	2,566	2,701
貸倒引当金	△75	△75
投資その他の資産合計	7,969	8,346
固定資産合計	74,910	77,740
資産合計	94,332	97,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,614	7,450
電子記録債務	4,205	4,282
短期借入金	7,905	7,745
1年内返済予定の長期借入金	3,784	3,591
リース債務	120	113
未払法人税等	991	781
賞与引当金	521	102
その他	8,569	10,224
流動負債合計	33,712	34,292
固定負債		
長期借入金	13,031	14,824
リース債務	152	127
繰延税金負債	251	243
役員退職慰労引当金	224	214
退職給付に係る負債	8,529	8,508
資産除去債務	700	703
再評価に係る繰延税金負債	2,035	2,035
その他	351	354
固定負債合計	25,276	27,011
負債合計	58,989	61,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	6,034	6,034
利益剰余金	22,625	23,169
自己株式	△29	△29
株主資本合計	30,697	31,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	778	718
繰延ヘッジ損益	2	0
土地再評価差額金	3,231	3,231
退職給付に係る調整累計額	△478	△451
その他の包括利益累計額合計	3,534	3,499
非支配株主持分	1,111	1,130
純資産合計	35,343	35,870
負債純資産合計	94,332	97,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	28,862	28,912
売上原価	26,080	26,264
売上総利益	2,781	2,647
販売費及び一般管理費		
人件費	718	730
施設使用料	120	114
その他	505	526
販売費及び一般管理費合計	1,344	1,371
営業利益	1,436	1,276
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	43	43
持分法による投資利益	0	4
受取手数料	11	10
その他	22	26
営業外収益合計	79	86
営業外費用		
支払利息	19	21
その他	1	3
営業外費用合計	21	24
経常利益	1,494	1,337
特別利益		
固定資産売却益	57	47
資産除去債務戻入益	-	12
特別利益合計	57	60
特別損失		
固定資産処分損	4	11
特別損失合計	4	11
税金等調整前四半期純利益	1,546	1,387
法人税、住民税及び事業税	773	814
法人税等調整額	△215	△320
法人税等合計	558	493
四半期純利益	988	893
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	970	867

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	988	893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△61
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	29	27
その他の包括利益合計	46	△35
四半期包括利益	1,035	858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,015	833
非支配株主に係る四半期包括利益	19	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	物流関連事業	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	28,615	247	28,862	—	28,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	29	31	△31	—
計	28,617	276	28,893	△31	28,862
セグメント利益	2,681	102	2,784	△3	2,781

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、広告代理事業、設備工事事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、「物流関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、当社グループの事業セグメントは「物流関連事業」と「その他事業」でありましたが、当第1四半期連結会計期間より「物流関連事業」のみの単一セグメントに変更しております。

これは、当社グループの情報、施策を一元的に管理するために、事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて改めて検討した結果、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。